

中小家畜試験場バイオ棟受精卵実験室ほかエアコン更新工事

図 番	図 名	縮 尺
M-01	表紙、図面リスト	—
M-02	特記仕様書、附近見取図、配置図	1/1000
M-03	冷暖房設備 機器表、平面図（改修後）	1/100
M-04	冷暖房設備 機器表、平面図（撤去）	1/100
M-05	動力設備・二次側電気設備 平面図	1/100



工 事 名	中小家畜試験場バイオテク棟受精卵実験室ほかエアコン更新工事	S C A L E	D A T E	鳥 取 県 西 部 総 合 事 務 所 環 境 建 築 局 建 築 住 宅 課	課 長	課 長 補 佐	係 長	合 議	担 当	年 度	図面No.
図 名	表紙、図面リスト	—	R7.3								R6

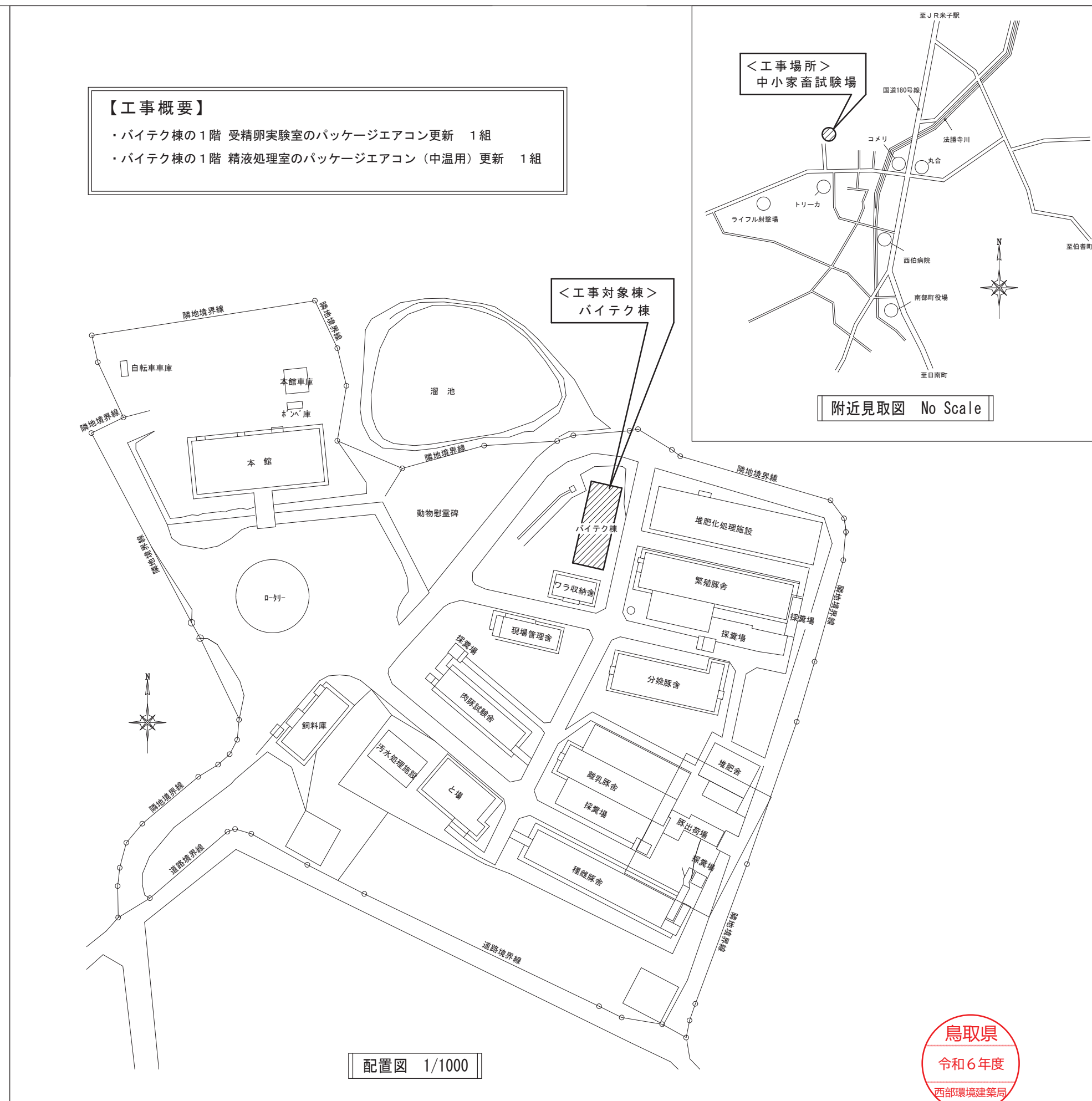
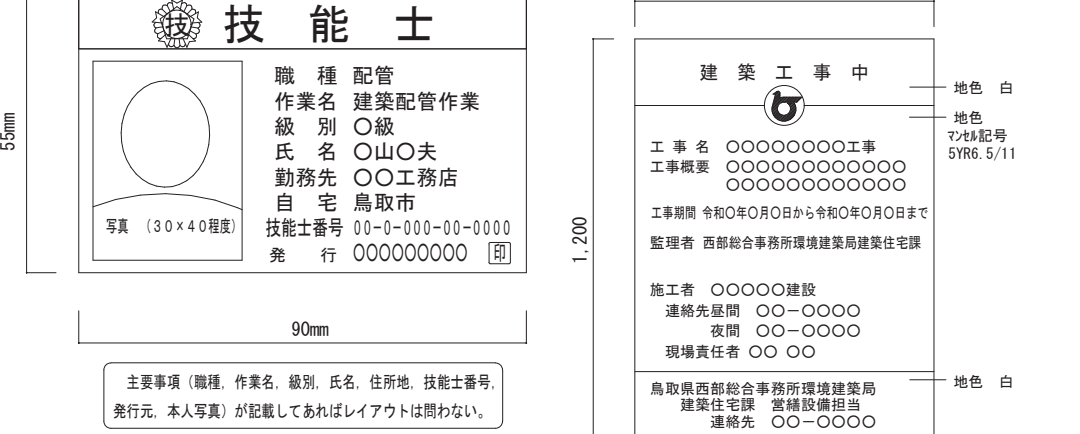
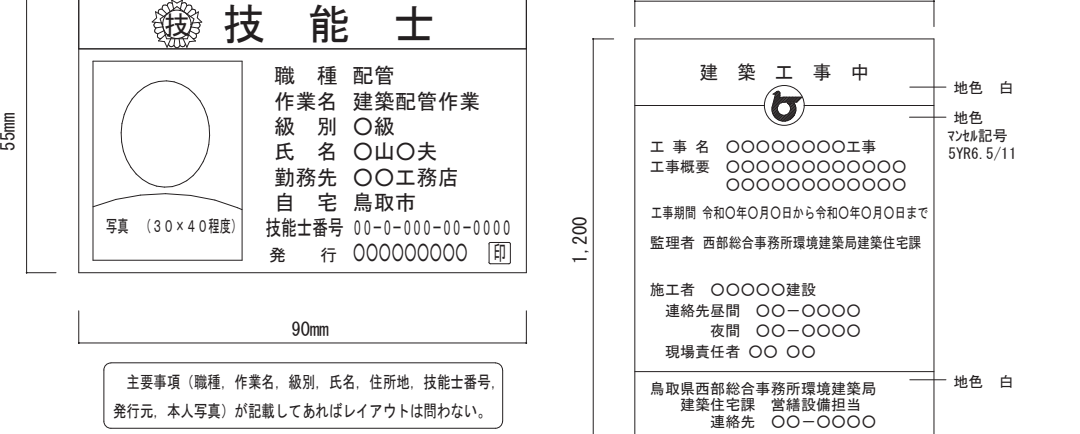
1 一般事項

1 一般事項

- (1) 現場説明書、質問回答書、特記仕様書及び図面に記載されていない事項は、すべて以下の国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の標準仕様書等による。
- ・「公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編）（令和4年版）」（以下「標準仕様書」という。）
 - ・「公共建築改修工事標準仕様書（機械設備工事編）（令和4年版）」（以下「改修標準仕様書」という。）
 - ・「公共建築設備工事標準図（機械設備工事編）（令和4年版）」（以下「標準図」という。）
- (2) 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「機械設備工事監理指針（令和4年版）」（以下「監理指針」という。）を適用する。
- (3) 電気設備工事及び建築工事を本工事に含む場合、電気設備工事及び建築工事はそれぞれの標準仕様書、改修標準仕様書、標準図及び監理指針を適用する。

2 特記事項

- (1) 官公署その他への手続
工事の施工に伴い必要な官公署その他への手続き、検査並びにその費用は、請負者の負担とする。
- (2) 機材等
本工事に使用する設備機材等は、設計図書に規定するもの又はこれらと同等以上の品質及び性能を有するものとする。
ただし、これらと同等以上のものとする場合は、設計図書に定める品質及び性能を有することの証明となる資料をあらかじめ監督職員に提出して承諾を受ける。なお、（社）公共建築協会発行の「建築材料・設備機材等品質性能評価事業 設備機材等評価名簿」による場合は評価書の写しを監督職員に提出するものとする。
- (3) 機材の品質・性能証明
JIS等のマーク及び評価書のある機材を使用する場合は、標準仕様書第1編第1章第4節1. 4. 2(3)の品質及び性能を有することの性能を有することの証明となる資料の提出を省略できる。ただし、標準仕様書に規定される製作図、試験成績等は除く。
- (4) 電気容量及び機器表示
原則として、機器類の能力、容量等は表示された値以上とし、電動機出力、燃料消費量等は表示された値以下とする。
- (5) 施工図等
提出した施工図等の著作権に係わる当該建物に限る使用权は発注者に移譲するものとする。
- (6) 完成写真等
国土交通大臣官房官庁営繕部監修の「工事写真撮影ガイドブック機械設備工事編 令和5年版」による。
完成写真（カラー判） 2部 を完成時に提出すること。
- (7) 完成図等
次の図書を工事の完成引渡し時に監督職員に提出する。
・完成図、施工図（CADデータ、PDFデータ）1部 ・完成図2つ折製本（A3判、A4判） 各2部
・完成図書（A4版市販ファイル）：完成写真、完成図・施工図（A4折ぱう）、主要機器図、試験成績書 2部
・保守用説明書（A4版市販ファイル）：保守に関する指導案内書、機器取扱説明書、主要機器一覧表 2部
・保証書 1部 ・官公署届出書類 1部
- (8) 技能士の適用
・冷凍空調と機器施工（2級）
- (9) 電気保安技術者
適用しない
- (10) 工事用水・電力・その他
本工事に必要な工事用電力、水及び諸手続きなどの費用はすべて受注者の負担とする。
- (11) 表示板
設ける。（寸法等は下図による。）
- (12) 補修など
工事の施工に伴い既存部分を汚染又は損傷した場合は、既成にならい補修する。
- (13) 火災保険等
工事目的物及び工事材料等工事施工途中の事故に伴う損害を補てんするため火災保険等に参加する。
（保険の加入期限は、工事完成引渡しまで〔概ね工期+21日〕とする。）
※ 技能士名札参考図 ※ 工事表示板（書体は角ゴシックとする）



工 事 名	中小家畜試験場バイテク棟受精卵実験室ほかエアコン更新工事	S C A L E	D A T E	鳥 取 県 西 部 総 合 事 務 所 環 境 建 築 局 建 築 住 宅 課	課 長	課 長 補 佐	係 長	合 議	担 当	年 度	図面NO.
図 名	特記仕様書、附近見取図、配置図	1/1000	R7.3								R6

機器表（新設）

記 号	名 称	仕 様	数量	備 考
	空冷ヒートポンプ パッケージエアコン	4方向吹出天井セット・シングル（112型） グリーン購入法適合機種 冷房 / 暖房能力：10.0（4.0～11.2）kW / 11.2（4.4～14.0）kW 電源：3φ200V 圧縮機：2.1kW（参考） ワイヤードリモコン、ドレンアップ、室外機用防振ゴム、他付属品一式	1	受精卵実験室
	空冷ヒートポンプ パッケージエアコン	4方向吹出天井セット・シングル（3HP） 中温用 冷房 / 暖房能力：8.0（2.4～9.0）kW / 9.0（2.0～10.0）kW 電源：3φ200V 圧縮機：2.0kW（参考） ワイヤードリモコン、ドレンアップ、室外機用防振ゴム、他付属品一式	1	精液処理室

※新設エアコンの冷暖房能力はJIS標準条件（JIS B 8616）とし、上表の記載数値以上を採用すること。電気容量は参考値とする。

※高調波抑制対策指針の適用対象となる場合（1相あたりの入力電流が20Aを超える場合）は、 $K_i=1.8$ 以下の機器を選定すること。

凡 例

記 号	名 称	仕 様 等
—— R ——	冷媒管	冷媒用断熱被覆銅管(JCDA 0009)
—— D ——	ドレン管	硬質塩化ビニル管(VP)(JIS K 6741)
—— -----		既設配管接続箇所
		配管用貫通口(既設)
	天井点検口	450×450(新設)
	天井点検口	450×450(既設)

記号	冷媒管サイズ*
①	液管 : $\phi 9.52$ ガス管 : $\phi 15.88$

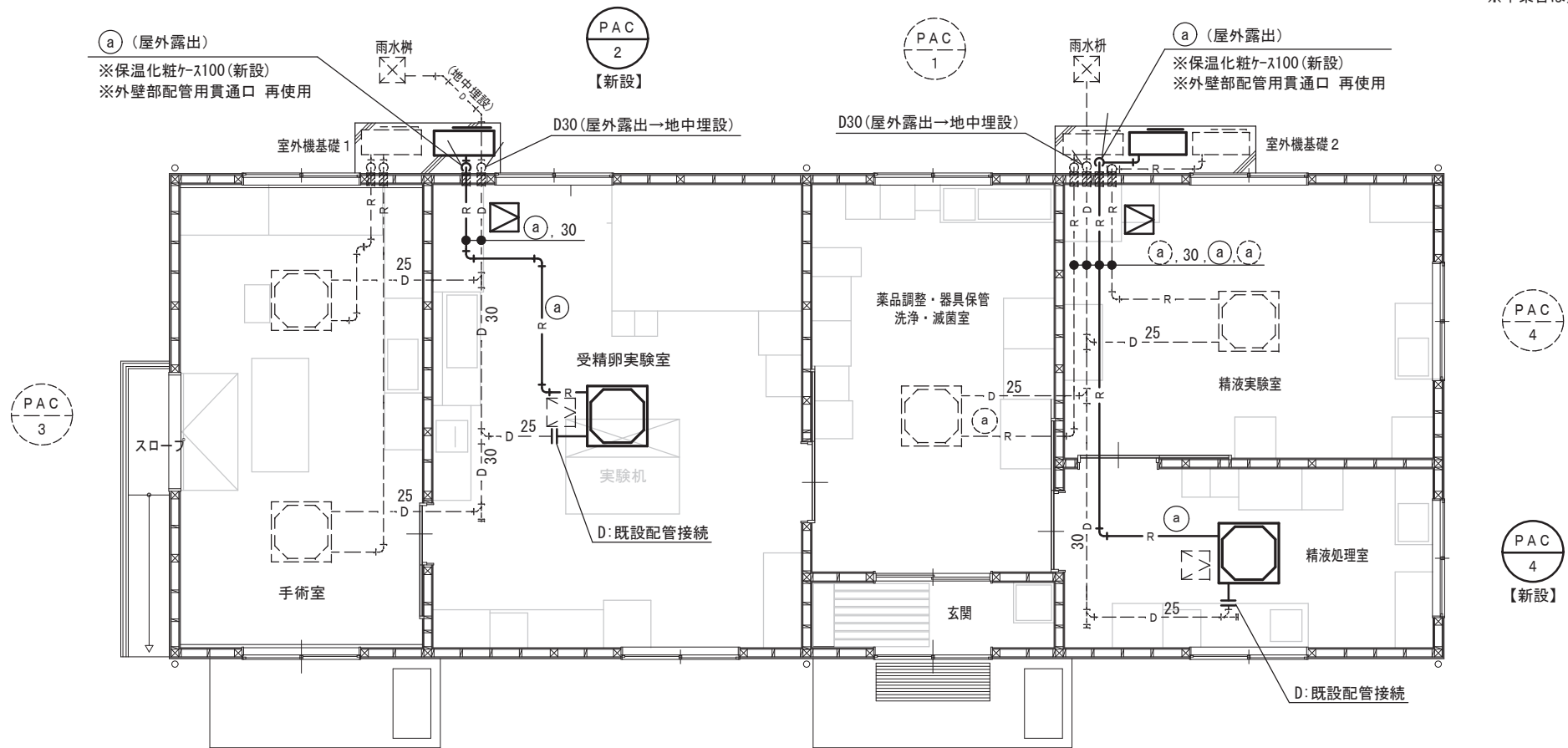
※新設冷媒管の保温厚は液管10t,ガス管20tとする。

PAC-2,3用室外機基礎 1・架台類			
RC基礎: 2,700×900×H300	1		再使用
鋼製平架台(2連417): 2,400×520×H500, 溶融亜鉛めっき仕上げ	1		再使用

※平架台は採用機種の寸法に応じて機器取付部の寸法調整を行うこと。

PAC-1, 4用室外機基礎 2・架台類			
RC基礎: 3, 900×900×H300	1	再使用	
鋼製平架台(3連タイプ): 3, 600×520×H500, 溶融亜鉛めっき仕上げ	1	再使用	

※平架台は採用機種寸法に応じて機器取付部の寸法調整を行うこと。



バイテク棟 1階平面図（改修後） 1/100

特記

- 1 実線（太線）部分は新設を示し、破線部分は既設を示す。また、指示なき配管は天井内配管とする。
- 2 既設機器、配管配線類の仕様、位置、経路等を現地調査により確認した上で施工すること。
- 3 室内機更新に伴い機器接続部から500mm程度のドレン管（保温仕様：c・（ロ）・VII）を新設し、既設配管に接続する。
- 4 改修後の冷媒管、ドレン管、電源配線、内外連絡配線、リモコン配線の仕様が採用機種の基準等に適合していることを確認し、必要場合は改修を行うこと。この場合の費用は、原則として受注者負担とする。
- 5 改修範囲の天井材、配管保温材等のアスベスト含有は無いものと見込んでいるが、施工前に現地調査により確認すること。アスベスト含有の有無が判断できなかった場合は、分析調査の実施について監督員と協議すること。

工 事 名	中小家畜試験場バイテク棟受精卵実験室ほかエアコン更新工事	S C A L E	D A T E	鳥 取 県 西 部 総 合 事 務 所 環 境 建 築 局 建 築 住 宅 課	課 長	課 長 補 佐	係 長	合 議	担 当	年 度	図面NO.
図 名	冷暖房設備 機器表、平面図（改修後）	1/100	R7.3								R6

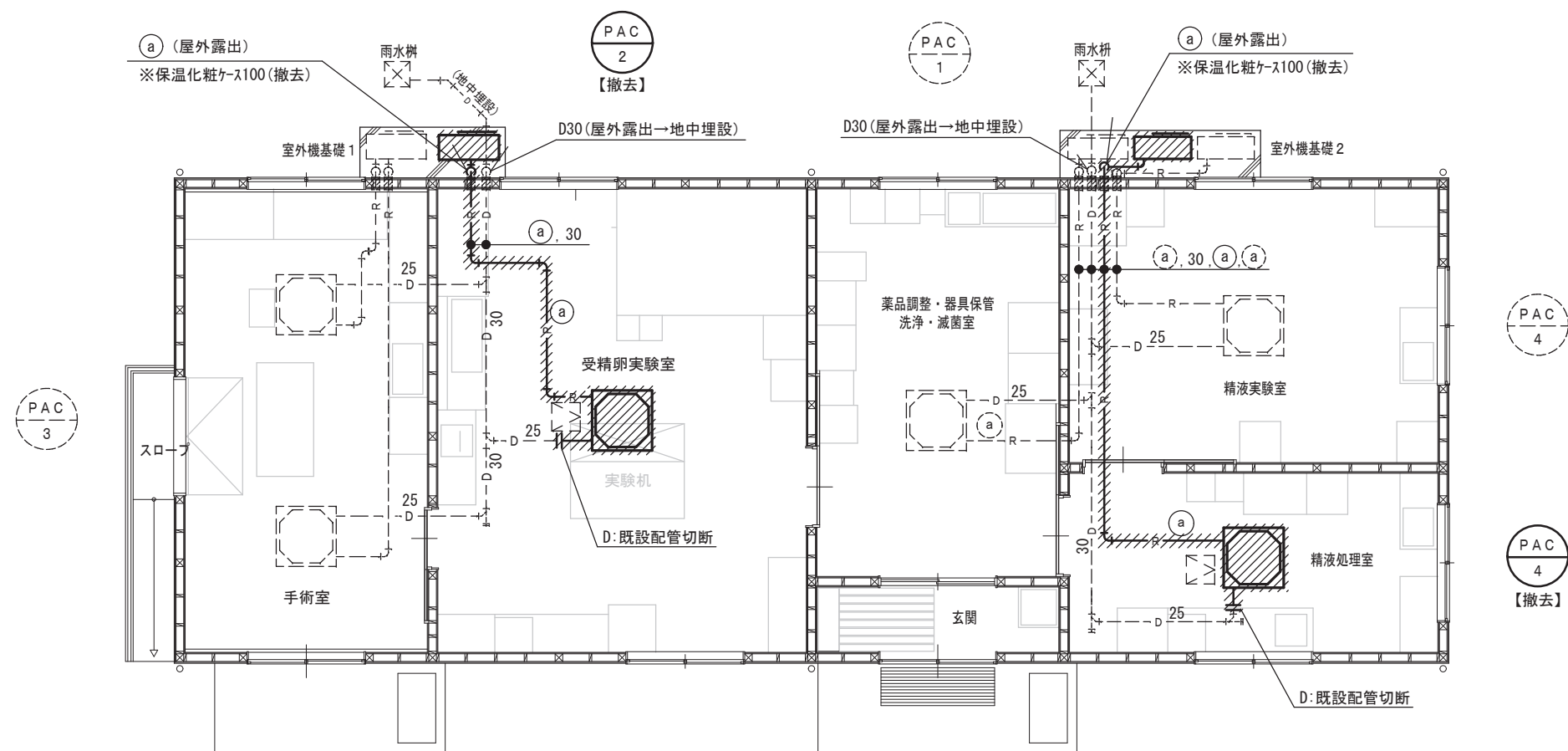
機器表（撤去）

記 号	名 称	仕 様	数量	備 考
	空冷ヒートポンプ パッケージエアコン	4方向吹出天井セット・シングル (112型) 冷房 / 暖房能力: 10.0 (4.9~11.2) kW / 11.2 (4.5~12.5) kW 電源: 3φ200V 圧縮機: 2.3kw ワイヤードリモコン, ドレンアップ, 室外機用防振ゴム, 他付属品一式 R410A (2.7kg)	1	受精卵実験室 既設型式: MPLZ-P112AC (三菱電機)
	空冷ヒートポンプ パッケージエアコン	4方向吹出天井セット・シングル (3HP) 中温用 冷房能力: 8.0 (〜9.0) kW 電源: 3φ200V 圧縮機: 1.6kW(参考) ワイヤードリモコン, ドレンアップ, 室外機用防振ゴム, 他付属品一式 R410A (3.5kg)	1	精液処理室 既設型式: PLG-P3MAC (三菱電機)

凡 例

記 号	名 称	仕 様 等
—— R ——	冷媒管	冷媒用断熱被覆銅管
—— D ——	ドレン管	硬質塩化ビニル管 (VP)
—— - - - -		既設配管切断箇所
		配管用貫通口 (既設のまま)
	天井点検口	450×450 (既設のまま)

記号	冷媒管サイズ*
Ⓐ	液管 : $\phi 9.52$ ガス管 : $\phi 15.88$

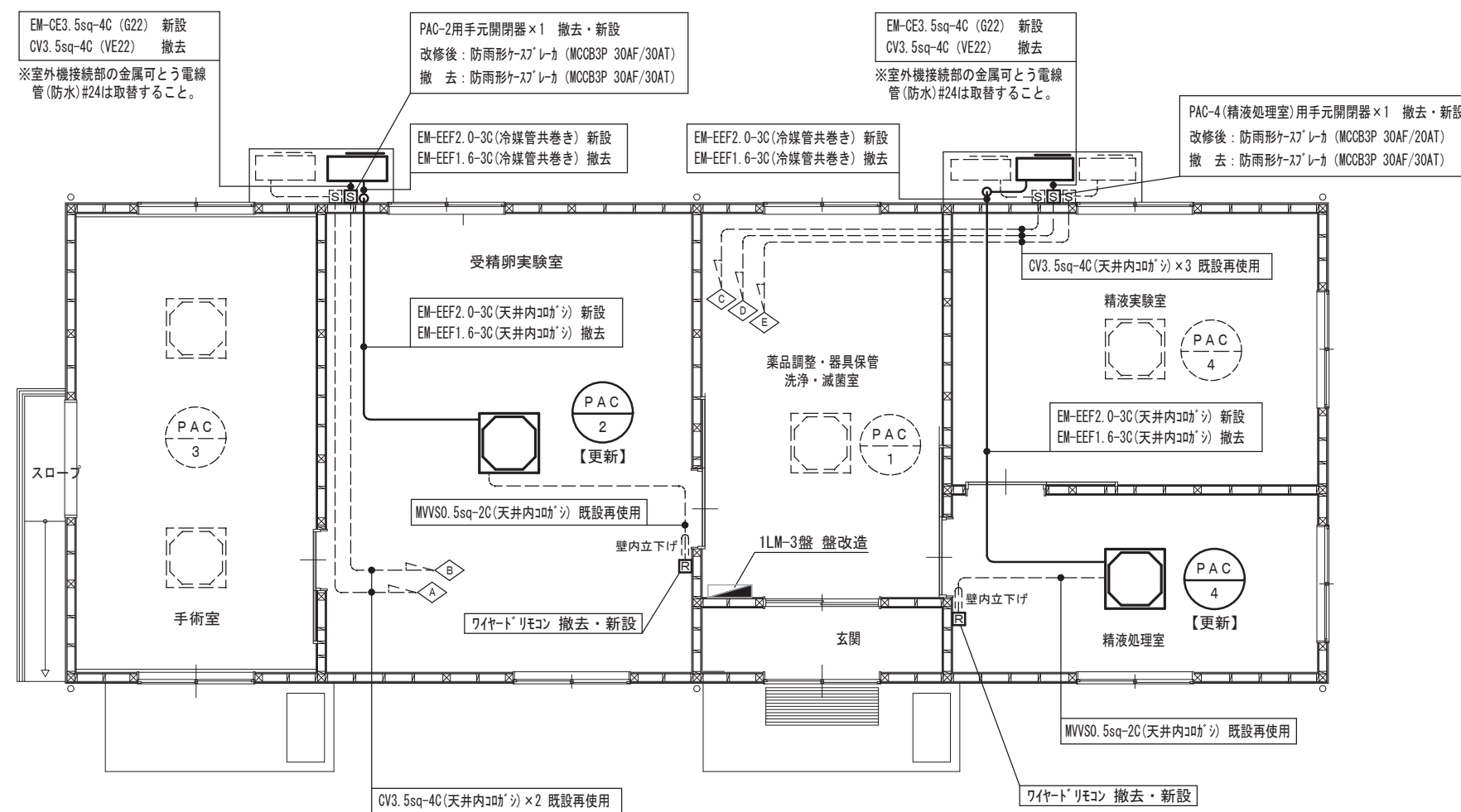


バイテク棟 1階平面図（撤去） 1/100

特記

- 2 室内機撤去に伴い機器接続部から500mm程度で既設ドレン管（保温材 共）を切断し、機器側の配管を撤去する。

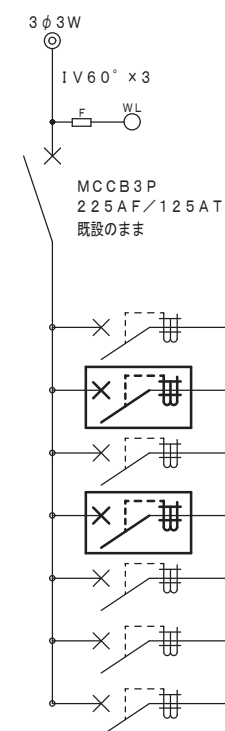
工 事 名	中家畜試験場バイテク棟受精卵実験室ほかエアコン更新工事	S C A L E	D A T E	鳥 取 県 西 部 総 合 事 務 所 環 境 建 築 局 建 築 住 宅 課	課 長	課 長 補 佐	係 長	合 議	担 当	年 度	図面NO.
図 名	冷暖房設備 機器表、平面図（撤去）	1/100	R7.3								R6



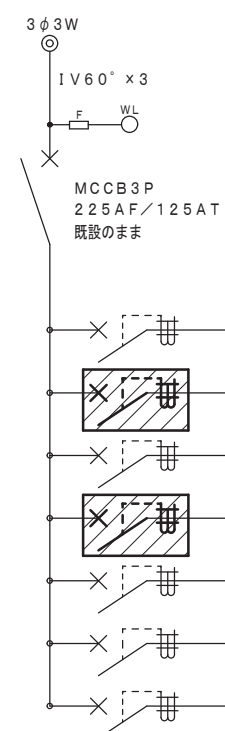
バイテク棟 1階平面図 1/100

特記

- 1 実線（太線）部分は改修部分を示し、破線部分は既設を示す。
- 2 施工前に既設の配線経路、回路等を十分に現地調査した上で施工すること。
- 3 再使用するケーブル類は、再使用前に絶縁測定を行うこと。絶縁状態が悪い場合は対応について監督員と協議すること。
- 4 1LM-3盤の漏電遮断器（新設）及び手元開閉器の遮断器（新設）の容量は参考とし、採用エアコンのメーカー推奨仕様に適したものを選定すること。



既設分電盤（1LM-3）結線図（改修後）



既設分電盤 (1LM-3) 結線図 (撤去)

鳥取県

令和6年度

西部環境建築局

工 事 名	中家畜試験場バイオ棟受精卵実験室ほかエアコン更新工事	S C A L E	D A T E	鳥 取 県 西 部 総 合 事 務 所 環 境 建 築 局 建 築 住 宅 課	課 長	課 長 補 佐	係 長	合 議	担 当	年 度	図面NO.
図 名	動力設備・二次側電気設備平面図	1/100	R7.3								R6